



滝上町外国語指導助手

# Jordy's コーナー

日本に来て始めた趣味にロッククライミングがあります。この地域に住むALTが私の仲間で、旭川にある専門のジムに通いました。とても親切で雰囲気が良いのですが、旭川は少し遠くいつも通えません。

雪がとけて今やっと外で仲間とクライミングできるよ

うになりました。初めての場所は函館山です。

とても興奮しました。それから小樽、登別、旭川でクライミングし次は名寄に行く予定です。

今年の夏は仲間と福島を旅行し、そこでも挑戦しようと思います。

北海道で初めてリード・クライミングをしました。これはロープを使うので、高い所に登れます。

2人1組になり、登る人は体にロープを巻き、もう一人が下でロープの端をつかんでいます。

もし落ちてもしっかりつかられることはないのです。ロープが守ってくれます。ロープはとても大切です。

登別と旭川ではボルダリングもしました。これはロープを使わないので1人で楽しめます。比較的低い岩に登り、落ちてもしっかり下に厚いパッドを敷くのでケガの心配はありません。

外で登っていると、いつもたくさんの同好者に会います。彼等はとても親切で、アドバイスしてくれたり助けてくれます。ベテランもたくさんいます。クライミングする場所を見つけるのに役立つ本を書いた人にも会いました。

ロッククライミングは本当にわくわくするような楽しい趣味です。もっと練習し上手になりたい、健康になりたいと思うようになりました。あなたも是非やってみてください！



## 「奉納句額」△敬省略▽

『奉納句 滝上吟社同人  
秋季混題

秋季混題

神風の御蔭に稔る稲穂哉

拾小舟

月の夜は殊更に冴て聞ゆ砧かな

龍太

月の秋菊に紅葉の話せよ

芋園

秋風や野に物喰ふ馬に吹く

麦生

秋祭り着飾りし娘大股に

酒好

紅葉に夕日大きく沈みけり

一柳子

富士を背に夕陽に映ゆる紅葉哉

黙水

水清く紅葉の浮ぶ宮の池

歌麿

秋風や目張りの紙も低ふ泣く

末女

居残しは案山子にて候ぼ路姿

灰魂

秋晴や艦上に放つ伝書鳩

秋好

谷川の水音清し秋の月

栗山

秋晴や音して豆のはじけたり

逸葉

野分吹く野を馬飛ばす土人哉

三余

宮太鼓垂穂の上に響きけり

馬笑

鋤拭ふ草の根元や虫の声

笑岳

大正九年拾月拾五日

この奉納句額は大正九年秋に滝上吟社同人十六人が滝上神社に奉納したものです。縦四十五センチ、横百十三センチ、木目板の立派なものです。

滝上神社はこの頃は滝上公園の旧登り口からの中腹にありました。現在地に移転したのは昭和十二年です。先月まで郷土館で開かれていた写真展に移転前の神社のたたずまいが写った一枚がありました。滝上吟社は大

正六年に友納秋好を中心につくられました。その後、活動が停滞しましたが昭和十一年西川貴代志、友納秋好、高橋力上、一条かの子らによって復活しました。戦争による中断の後、昭和二十二年に再開しました。

昭和二十七年には「滝に遊ぶ虹竜に日の隅もなし」の句碑を建立しています。吟社主宰西川貴代志は昭和四十六年に滝上町文化奨励賞を受賞しましたが、翌四十七年九月に他界されたのです。資料 文連機関紙「滝」



## おぐり アイ 小栗EYE

郷土館管理人小栗さんに収蔵品の紹介や、それらにまつわるエピソードなどを紹介していただきます！

